

# 舞台と客席の息づかいと

## たくさんのサポーターさんの想いの詰まった劇場

ゲンゴロウ 五城目大五郎

これまで演出家の石塚さんを中心に燈してきた灯火を、その亡き後、石塚作品を心から愛する安田研二郎さんが受け継ぎ、賛同する天城さん、小山田さん、高橋さん小沢さんが（ミュージカルカンパニーふるきやら）を立ち上げました。小さな事務所も、安田さんはじめメンバーの思いがパンパンに詰め込んだ事務所は居心地のいい空間でありました。

7月24日その灯火のもとに裏方スタッフ、下座メンバー、役者が集まり、稽古が始まりました。そして稽古場での積み込み、三越劇場の荷卸しは武蔵野大学の学生さん達の力をお借りしました。三越劇場の荷卸しとバラシは本当に大変なのです。この場をお借りして重ねてお礼を申し上げます。

仕込みが終わりいよいよ公演。サポーターの方々、昔からの応援団、他沢山のお客様方が劇場の客席を埋め尽くし、舞台の幕が開きました。舞台の役者の息づかいと客席の息づかいが相まって感動の劇場が出来るのでしょうか。改めて劇場は沢山の力と思いが合わさってできることを実感した公演でした。

劇場全体が瓶ヶ森の世界に満ちた（ミュージカルカンパニー ふるきやら）の旗揚げにふさわしい素敵な公演になったと思います。関わって下さった方々皆さんに感謝！

石塚さんも劇場のどこかで間違いなく観て喜んでいたらろおなあ。  
ねっ、石塚さん！



ダブルクリックすると全画面表示になり、Ctrlキーを押しながらクリックすると、ピ